計算機数学 NO.13

第 13 回目の主題：表組み

1. 今日すること

beamer パッケージを使用して、数学 (もしくは算数) の適当な題材について紙芝居風のスライドを作成せよ。表をひとつ以上入れること。できれば、図も加えてみること。(図の取り込み方は前回以前のことを参照。)

- メールの件名は「計算機数学レポート No.13」.
- 提出は pdf ファイル。
- 不明な点、うまくいかない点がある場合には、該当のファイルも添付していただけるとありがたいです。

2. ヒント

◎ (表は別に beamer と関係なく、article, amsart,jartcle などの documentclass で使える。)

◎表組の例

```
\begin{tabular}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|}          %(あ)
\hline                                                  %(い)
元 &$e$&  $a$ &$a^2$&  $a^3$ &  $a^4$& $a^5$
& $a^6$& $a^7$& $a^8$& $a^9$& $a^{10}$& $a^{11}$\\     %(う)
\hline
位数&
$1$ &$12$ & $6$& $4$&$3$& $12$
& $2$& $12$ & $3$ & $4$ & $6$ & $12$ \\
\hline
\end{tabular}
```

実行結果:

元	e	a	a^2	a^3	a^4	a^5	a^6	a^7	a^8	a^9	a^{10}	a^{11}
位数	1	12	6	4	3	12	2	12	3	4	6	12

- tabular 環境を使う。引数として、どんなものがどのくらい並ぶかを書く。(あ) 上の場合では、各欄の項目を中央に書くという書式のもの (c) を 13 個並べている。各項目が縦線で区切られるように、|を用いる。ちなみに、a^{10} と a^{11} の間の仕切りのみ、わざと|を抜かしてみた。
- 横線は `\hline` (い).
- 行の区切りは\\ (う).
- 各項目の区切りは `&`.
- 表自体は数式としては扱われないので、項目として数式を入れるときにはそれぞれを$ で囲むこと。

表組みは結構奥が深いので詳しいことは教科書参照。(もちろん web で検索するのもよい。)

◎ Q&A: 画像の貼り付けが分からないです。(No.9 のグラフは貼れている人より。)

- No9. のグラフと同じように貼ってください。
- TeX 側: `\includegraphics{hoge.eps}` と書く。hoge の部分はもちろん自分の状況に応じて変えること。
- `hoge.eps` は tex ファイルと同じフォルダに置くこと。
- eps ファイル作成には (cliptoeps.bat でも良いが) bitmap2eps.exe というのを利用 (drag & drop) すれば良いようです。元の画像ファイル (例えば hoge.jpg) と同じフォルダに eps ファイル (hoge.eps) ができます。bitmap2eps.exe は `c:\texlive\2013\bin\win32\` にあるのでショートカットを作ってデスクトップに置いておくと便利かもしれません。